



令和5年12月1日
目黒区立駒場保育園園長

風は冷たくなってきましたが、子どもたちは園庭や散歩先でも元気に体を動かして遊んでいます。1階の幼児クラスからはカスタネットやスズなどさまざまな楽器の音が聞こえ、来週の“大きくなったね会”に向けて意欲的に取り組んでいる姿が感じられます。“大きくなったね会”は3、4、5歳児クラスが好きな絵本を題材に、表現することを楽しむ活動です。子どもたちは絵本を見ることも、読んでもらうことも大好きです。0歳児は絵本への取り掛かりとして、絵カードや布絵本で身近なものの認識につながるようなものを一緒に見て、共感しています。1～4歳児は子どもの生活に結び付いた話や、同じ繰り返しがあつた話。4～5歳児はぐるぐる話と言われる因果関係を持ってつながっていき元に戻っていく話を喜んで聞くようになります。そして、5～6歳児になると話の筋を理解するだけでなく、あらすじをかいつまんで言うことや登場人物に対して、自分なりの感想を言ったり話を作ったりする力も育ってきます。また、大人に読み聞かせてもらう時、子どもたちはストーリーを頭に描きながらファンタジーの世界に入っているのでしょう。1、2歳児では同じ絵本をそれぞれ1冊ずつ開いて眺め、同じ絵本だね、という表情でお互いを見合ったり、幼児になると1冊の図鑑を見ながら指を指して何やら語り合ったりと、子どもたちの間に暖かい雰囲気を感じられます。また、大好きな絵本は何回も繰り返して読んでもらったり読んだりして、覚えてしまうほどです。ご家庭では膝の上に座って、就寝前布団の中でなど絵本を通して幸せな時間を過ごしていると思います。

年末年始はお子さんとお過ごす時間も多と思います。お気に入りの1冊が見つかるかもしれませんね。



大きくなったね会
(3、4、5歳クラス)

0歳検診

煙体験(3、4、5歳クラス)

5歳クラス懇談会

身体計測

避難訓練

☆12月29日～1月3日

保育園はお休みになります。

家庭でできるかぜ予防のポイント

- ・手洗い 外遊びの後や食事の前などせっけんを使っていねいに手を洗います。
- ・規則正しい生活 早寝早起きとバランスのよい食事、外遊びを心がけ、規則正しい生活を送ります。
- ・人混みを避ける インフルエンザ・新型コロナウイルスの流行時期には人混みを避けます。



つぶやき(2歳児)

「アラートの訓練の防災無線でサイレンの音が鳴ると「こちらは、防災・・・」

「え? ようかい」

怖くなったのかその場から動けなくなってしまいました。

<今月は大きくなったね会の取り組みを紹介します >

さくら組 「もりのお風呂」

お医者さんなどの身近な存在や、絵本に登場する役になりきって遊ぶのが大好きな子どもたちの最近のお気に入りには「もりのお風呂」の絵本です。「入れて」「いいよ」とついたての囲いで作った大きなお風呂に入り、「もりのお風呂」に出てくる好きな動物になりきって「ごしごしゅっしゅ」と絵本に出てくるフレーズを言いながら、体を洗う仕草をして「もりのお風呂ごっこ」を楽しんでいました。遊んでいる中で「お風呂を可愛くする」とついたてのふちに様々な色の洗濯ばさみを付けて飾りにしています。「お湯入れるね」とたくさんの布を囲いの中に入れて、一人ひとりが想像するお風呂を作って楽しんでいます。劇遊びでは最後に“ざぶん”とみんな一斉にお風呂に入る場面がお気に入りです。また、散歩先で拾ったどんぐりなどを入れた手作りマラカス使って“おもちゃのチャチャチャ”を歌います。日頃楽しんでいる手遊びも合わせて、表現して楽しみたいと思います。



すみれ組 「ブレーメンの音楽隊」

ブレーメンの音楽隊の絵本を繰り返し読んできました。保育士が手作りのペープサートで話をすると、自分でも絵を描いたり動かしたりして遊び始めました。そんな中で、「年取るって何」と疑問の声が上がり、人間も動物も年を取ることや、絵本に出てくる家畜の話などをしました。そして、追い出された動物の気持ちを考えてみると「かわいそう」「嫌だと思う」と感想が聞かれ、どうやってブレーメンまで歩いているかみんなでやってみると、「下を向いて歩いていると思う」「悲しい顔していると思う」と子どもたちが思う追い出された動物を表現していました。一方の泥棒は、「大きくて強そう」「怖そう」と、怒った顔で腕を振り、大きな歩幅で歩いていました。悲しい表情で歩く動物役の子もたちも、泥棒を追出す場面は大好きで、大きな声で鳴き声を真似しています。子どもたちが役の気持ちになってやりとりしながら表現することを楽しんでいます。



ひまわり組 「どろぼうがっこう」

初めて「どろぼうがっこう」の絵本を読んだ時から「大きくなったね会でこれがやりたい」とすっかり物語の面白さに魅了された子どもたちです。言葉の言い回しや、やり取りが面白く台詞を言うだけでも思わず笑みが出ています。話の面白さをそのままに、自分たちで台詞を考えた場面もあります。もっと面白くしようと、様々なことを想像して考えている時から笑いが止まらず、楽しみながら取り組んでいます。一人ひとりセリフを言う場面など緊張はありますが、楽しい気持ちが勝ってひとりではっきりと台詞を言う姿には頼もしさを感じます。また、合奏の取り組みではまず興味津々な楽器の音を鳴らすことを十分に楽しんでから曲に合わせてリズムを打ってみるとすぐに音が合わさり、昨年度から積み重ねてきた手拍子によるリズム打ちが活かされていることを感じました。大好きな“にじ”の曲を、声を合わせた歌と合奏で演奏します。

